

北清協 安全情報 196号

平成 30 年 6 月 8 日
 北海道トラック交通共済協同組合
 安全推進企画部

		対 人			対 物	車 両
		件 数	傷 者	死 者		
単 月	H30年5月	22	27	2	90	24
	H29年5月	12	21	0	71	12
	前年対比	+10	+6	+2	+19	+12
累 計	H30年4~5月	36	42	3	179	59
	H29年4~5月	28	43	0	155	37
	前年対比	+8	-1	+3	+24	+22

5月末までの事故件数は、対人・対物・車両すべての項目で増加
 この最悪の事態を止めるべく、基本安全行動の確認と、ヒヤリ・ハ
 ットの撲滅、出発前のKYT強化をお願いします。

今月1日より、点呼時に睡眠状況の 報告義務化がスタートしています。

※翌日の安全な運行の為に十分な睡眠をとる
 (6~7時間の連続した睡眠)

居眠りを起こす要因は2つ！

- ①過労・睡眠不足・体力の低下時に起きる眠気
- ②人間の身体のサイクル(深夜・早朝・お昼過ぎ)

その眠気 ほっといてませんか？ 眠気を我慢しながらの運転は
 マイクロスリープや覚低運転に繋がりがり危険！

- ① 停車できる場所を探し休憩を取る。
- ② 瞬間的に覚醒刺激(アメやガムなど即効性のある防止グッズ)で眠気を散らす



運行中は自分が責任者 安全輸送を第一優先に！